

令和7年度

# 学校評価書



生活科: 幼保小交流 (11月: 秋探し)



満開のひまわり畑(8月: フェスティバル(雨天: 体育館))



総合: 田植え・稲刈り: 沖縄交流(10月: 5年生)



搾乳体験: 木古内訪問(7月: 6年生)



きりたんぼ祭り: 販売呼びかけ (10月)



カヌー体験 宿泊体感学習 I (6月: 4年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

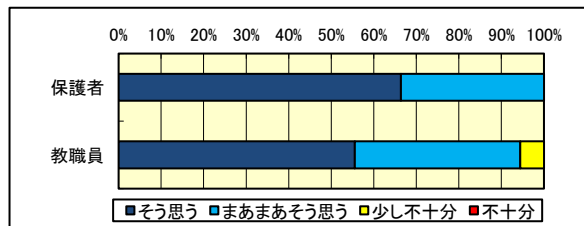
### I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね良好	良好	学校と地域、保護者の連携のよさが顕著にみられ、前向きに取り組んでいることが分かる。PTA研修の実施については、保護者の参加率が高く、研修会が効果的に実施されている。設備については、老朽化もあり課題が多いが、根気よく要望をし続けていただきたい。

学校の改善評価の概要と学	施設設備については、予算を有効活用し、窓掃除や床のワックスがけ、浄化槽の修繕、放送設備の改善と進めることができた。家庭への情報発信に関しては、家庭との連絡ツールの新規活用を通してデータでおたよりの送信が可能になり、保護者の以前からの「カラーでおたよりを見たい」という要望に応えることができた。PTA研修会では、「親子のつながり」について臨床心理士を迎えて講話いただいた。保護者の参加率もよく、好評であった。地域連携、幼保小連携に関しても計画的に進めることができた。 昨年度、今年度と対応に追われた学校裏の雑木林におけるアメシロの大量発生、クマとの遭遇の危険性などが懸念され、早期の整備が課題である。また、今後、指導部の目標見直しが行われるが、月ごとに、目指す方向がはっきりするような目標を設定し、全校児童がそれに向かって実践しやすいように改善したい。
--------------	--

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、各種委員会の開催	3
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修	
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・諸行事の案内	4
	(4) 幼・保・小・中等、関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流や授業参観、保育参観、連携研究会の実施	

#### [2(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信]

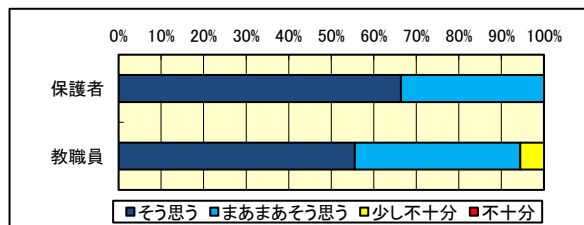


2学期PTA研修  
臨床心理士 佐々木氏を講師に120名ほどが参加  
「親子のつながり」～会話を見直してみませんか～



#### [2(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

□ 学校は、諸活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の方々、保育園やこども園と連携しながら活動を進めていると思いますか。



出会の集い  
登下校見守りに関わって、交通安全釈迦内支部の皆さん、民生委員の皆さんとの顔合わせ



1階放送室の放送機器が新しく、使いやすくなりました。



地域の方のお力も借りて、5年田植え。この日は向陽こども園の子どもたちも。



プール授業でも幼保小交流。外部講師をお招きしました。



秋の架け橋授業。生活科で秋の交流をしました。



ミシンボランティア 5, 6年生の家庭科の授業で。

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

## II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	良好	ひまわり活動に特化した項目である。保護者のアンケート結果からは肯定的な回答ばかりで満足していることが分かる。ひまわり活動は、母体がまちづくりから学校へ移行されたが、取り組む姿勢や活動の様子から、自分事として捉えていることが伝わってくる。今後は、これらの活動が授業のプログラムにどう反映しているのかが明らかになるとさらにより、次年度、学年ごとの取組に切り替わることで、授業とリンクしている部分が見えやすくなるのではないかと。

改善校評価の概要と学校の  
 たくさんの活動の中で「どんなイベントにするか」「どんなことをして地域を喜ばせるか」と考えている子どもたちが多く見られた。「地域を明るく元気にしたい」という目標が、活動の間、子どもたちの中にあったと感じている。さらに、一年間で身に付いた力が感謝祭で表現され、実際に地域の方々が喜んでる姿を見ることができて、みんなが笑顔になった。このように、ひまわり活動とそれに関わる児童の意識が相互に関わり合っ一連の流れができていくのがよい。保護者の声として、『ひまわり活動は本当にすごいことで、今後も伝え、続けていってほしいと思いますが、大変な作業であることも現実。参加してみないと分からない大変さもあったので、もっと保護者やJ&Bへの呼びかけを』という意見や『ひまわり活動は、子どもたちも先生方も役員のみなさんも本当に大変だと思いますが、貴重な経験をさせていただいているので続けてほしいです。』などの肯定的な意見が出ている。  
 今後、よりスムーズな活動に向けて、学年ごとに内容を分け、3～6年生ですべての活動に携われるようにした方がよいと考え、会社形態をなくす予定である。新たな組織でアプローチの仕方を変えて、ひまわり活動を充実させたい。

tiikiwo	実践課題	主な取組	学校評価B
3 ふるさとつながるひまわり活動	(5) 特色ある教育課程の編成と実施	・付きたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト	3
	(6) なりたい自分をイメージし、前向きに挑戦する心を育む活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・キャリアの視点を踏まえた振り返り	

○児童    □保護者    ■教職員

**[3(5)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]**

○ひまわり活動を通して、友達や地域の人、周りの人々の良さを見つけることができましたか。

□学校は、児童の発想や願い、問いを生かして、児童主体のひまわり活動を行うことができていると思いますか。

■付きたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。

**[3(6)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]**

○ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。

□学校は、異学年や保護者、地域の方々との交流を通して、児童に自分を成長させようという気持ちや、協力してくれる方々への感謝の気持ちを育むことができていると思いますか。



学校評価 Aと学校関係者評価 の 評価区分	きわめて良好	学校評価Bの 評価基準	5 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	良好	児童への指導、職員の研修、日常の諸問題への対策等、学校としてよい方向へ向かって実践している。また、危機管理に対するフットワークの軽さがあり、トータルで良好と評価できる。保護者アンケートの自由記述からは、あいさつや礼儀について厳しいコメントもあるが、地域から見るとあいさつはがんばっていると感じる。

と学校評価の改善の善概要  
 全校で、生活のきまり「さくらんジャーの合い言葉」を帰りの会で発し、基本的な生活習慣の意識付けをしてきた。また、元気なあいさつを家庭や地域へ届けられるように、児童会企画であいさつ運動をしたり、あいさつ名人を決めたり、全校であいさつプラス1(手を振る、笑顔で反応、〇〇さんをつけて)に取り組んだりしてきた。あいさつやルールの定着について、児童や保護者は、約8割が肯定的に捉えており、意識化-見取り-称揚-定着のサイクルを進めてきた成果と感じている。今後は、前期、後期の年2回、さくらんジャーの合い言葉やあいさつが生活の中で生かされているかどうか、自己評価を通して課題を探り、さらに充実させたい。また、自己有用感ももてるように、全校で、BBカード(ビューティフルブルー)を活用しながら、友達の良いやがんばりを発見したり、帰りの会でキラッとさんを紹介したりしてきた。児童や保護者ともに約8割が肯定的と捉え、思いやりや優しさをもった行動や言動が定着しつつあると感じている。今後は、温かい言葉遣いが温かい人間関係につながることを伝えながら、友達や上級生、下級生に対する言葉遣いがやさしく、温かなものになるよう指導していきたい。

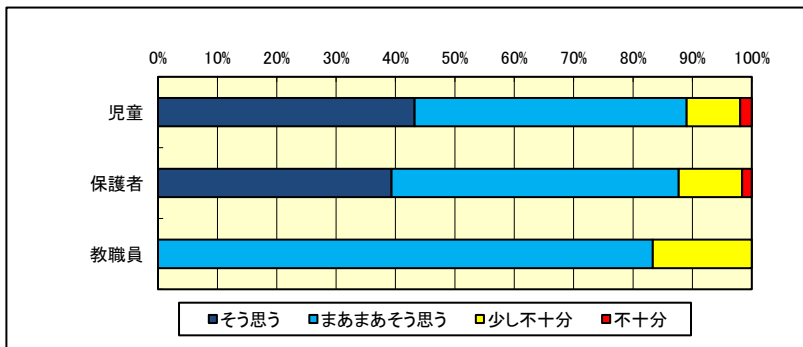
	実践課題	主な取組	学校評価B
4 規範意識を大切にしたい学校づくり	(7) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した基本的な生活習慣づくり	・生活のきまり「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・あいさつ運動の言葉遣い指導	3
	(8) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいの日の縦割り班遊びの奨励	
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(9) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・教育相談の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常の教育相談活動や自他のよさを見付け場の設定	3
	(10) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日や朝の登校指導の設定 ・避難訓練、交通安全教室等の実施	

#### ○児童 □保護者 ■教職員

#### 【4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり に関するデータ】

(9)「釈迦内小のやくそく」

- 「さくらんジャーの合い言葉」を意識して、あいさつや言葉づかい、校内のルールや、交通安全のルールを守ることができましたか。
- 子どもたちに学校生活や交通安全についての指導を徹底していますが、元気なあいさつや返事、ルールを守ろうとする気持ちが身に付いていると思いますか。
- 「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。



#### 【縦割りでのあいさつ運動】

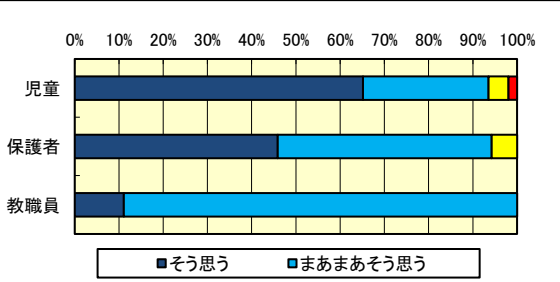


#### 【縦割り班集会】



#### 【5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ】

- 自分や友達の良いところを見つけたり、周りの人たちに「ありがとう」の気持ちを伝えたりすることができましたか。(BBカード・帰りの会のいいとこ探し等)
- 友達の優しさやよさ、がんばりを認め合う場を設定したり、カードで伝えたりしていますが、子どもたちには思いやりの気持ちが育まれていると思いますか。
- 相談活動の設定や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



#### 【4月 交通安全教室】



#### 【6月 引き渡し訓練】



#### 【7月 防犯教室】



#### 【8月職員不審者研修】



#### 【12月火災想定避難訓練】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

#### IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	保護者のアンケート結果では「子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしているか」に対して少し不十分という回答、児童のアンケートからは「進んで体づくりができたか」に対して不十分という回答もある。今後もマラソンや外遊びを奨励し、体力向上を目指してほしい。メディアコントロールに関しては、学校の取組は評価するが、家庭の取組によるところも大きい。ぜひ今後も継続して取り組み、家庭と連携してほしい。

の学校改善評価の概要と学校

「健康的・衛生的な生活の習慣化」については、昨年度の「メディアコントロールが早寝早起きにつながっていない」という課題から、「睡眠指導」について中学校区共通の指導・取組ができた。睡眠に焦点を当てた事前指導を行った上でメディアコントロール週間に入ったことで、達成率アップにつながるとともに、体調の変化に気付く児童もいた。(朝の目覚め・翌日のやる気など)

「栄養バランスのとれた食習慣の定着と食に対する意識の高揚」については、栄養教諭と連携して食育授業の計画的な実施を行うことができた。各学年の実態に応じた内容を取り扱うことで、食の重要性に気付いたり、実践意欲を高めたりすることにつながった。

「継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用」については、マラソンカードや縄跳びカードを用いながら自分の目標達成に向かって取り組んだり、音楽をかけることで意欲的に活動したりしていた。新体力テストでは、6年生が1年生の記録をとったり、アドバイスをしたりしながら、異学年交流の中で体力づくりに励むことができた。縄跳びチャンピオン大会の在り方をよりよいものにするために、来年度は実施項目や内容の変更を考えた。

「体育行事の充実」については、運動会をよりよい行事にするために、6年生考案の応援パフォーマンスを全校で精一杯練習する姿があった。その中で友達と協力することの大切さに気付いていた。また、雨天用プログラムも用意し、悪天候の中でも全校児童がそれぞれの役割を果たしていた。

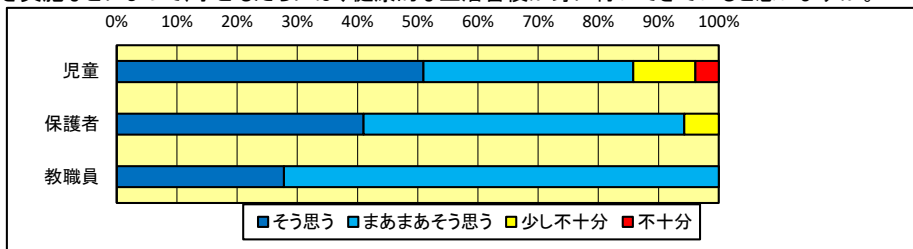
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
6 健康的な生活習慣づくり	(11) 健康的・衛生的な生活の習慣化	・健康状態の把握・指導(歯磨き・手洗い・メディアコントロール等) ・清掃指導	3
	(12) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・食育授業の計画的な実施と学校栄養教諭との連携	
7 体力づくり	(13) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施	3
	(14) 体育行事の充実	・意欲を引き出す事前事後指導 ・友達と協力して取り組む態度の育成	

○児童 □保護者 ■教職員

#### [6(11)(12)健康的な生活習慣に関するデータ]

○歯みがき、手洗い、ハンカチの持ち歩きに気を付けて生活したり、給食をすきらいせずに食べたりできましたか。

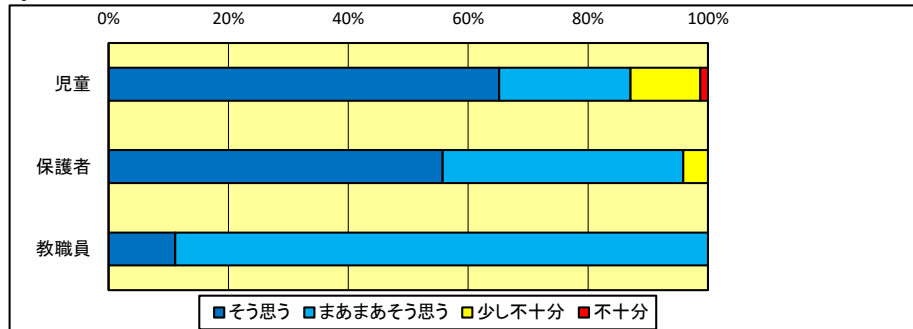
□■栄養教諭による食育指導や、児童委員会による熱中症予防、虫歯予防、メディアコントロール週間の実施、ハンカチ携帯、歯みがき実施などによって、子どもたちには、健康的な生活習慣が身に付いてきていると思いますか。



#### [7(13)(14)体づくりに関するデータ]

○マラソンや外遊びなど進んで体づくりをすることができましたか。

□■体力向上のためにマラソンタイムの実施や外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



食育授業

親子歯みがき教室

マラソンタイム

体力テスト(1・6年)

縄跳びタイム



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協動的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	授業参観の様子も合わせてがんばりを評価した。読書の奨励に関わるアンケート結果では、児童自身も保護者からも不十分という回答がある。親子読書の取組もあることから、今後の読書活動の充実を期待したい。学力向上の課題については、「言葉で説明したり文章でまとめたりする問題」に対しての対策を講じる等、分析結果を効果的に活用し、次年度につなげてほしい。

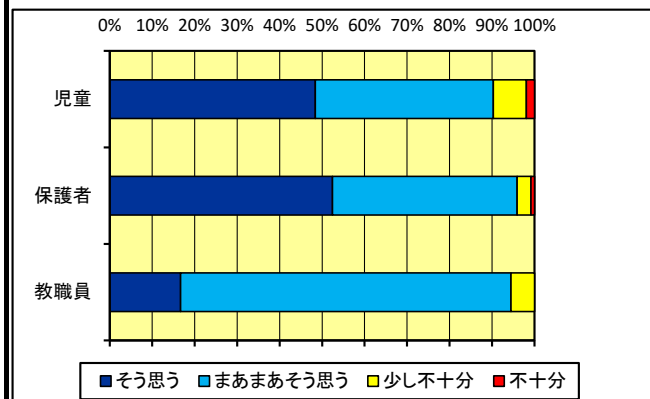
学校評価の改善の概要と  
 今年度は、「学びのオリエンテーション」を各学期で行った。1学期は学年毎、2学期は、上・下学年、3学期は児童が上・下学年の授業を参観する形で実施し、「学習のやくそく」を中心に、基本的な学習習慣の徹底を図った。「学習のやくそく」は今年度見直し、いつでも誰でも言えるようにしたことで、日常的に意識して学習する児童が増えた。また、家庭学習の充実を図るために、定期的にノート展を開催し、友達や先生に見られるようにした。学習ノートの使い方や学習内容を見直し、工夫して家庭学習に取り組めるようになってきている。今後は、計画的に学習を進める力を育てるよう、学習カードの効果的な活用などの取組を工夫していく。  
 読書活動では、6年間の読書記録が残せるように、読書ファイルを作成し蓄積できるようにした。また、今年度の新着本は学年棟に配置し、学年に図書コーナーを設けた。また、担任のおすすめの本を置くなど、様々なジャンルの本に触れさせることができた。さらに、家庭での読書を推進するために、月1回の「おうちで読書」を行っている。3学期は、読んだ本の紹介カードを書いたり親子で一緒に読書したりする取組も行っていき、今後も、学校でも家庭でも本に触れる機会を増やす活動を続けていきたい。  
 主体的な学びを実現するために、ねらいに迫るための「ひまわりタイム」を2段階で設定し、全員発表の「ひまわりタイム1」、思考を深めるための「ひまわりタイム2」として授業づくりに取り組んだ。また、朝の時間を朝学習とし、漢字・計算タイムや音読タイム、マス計算などを行った。短い時間ではあるが、楽しみながら基礎的な内容の習熟を図ることができている。県学習状況調査や標準学力調査に向けたパワーアップ学習を実施し、学校全体の学力向上に努めてきたが、言葉で説明したり文章でまとめたりする問題に対して、どの学年でも低い傾向が見られた。結果の分析を行い、今年度中に回復指導を行い、次年度につなげたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
8 基礎的な学習習慣の定着と確かな学力	(15) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・主体的な家庭学習の奨励・学びのオリエンテーションの実施	3
	(16) 読書活動の充実	・図書の活用 ・週末読書 ・読書タイムや読み聞かせの充実	
9 主体的な学び	(17) 主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに迫るための「ひまわりタイム」の充実 ・次時につなげる振り返りの充実	3
	(18) 基礎学力・語彙力を高める場の設定	・全校漢字計算テストの実施による基礎的な学習内容の習熟 ・評価問題や諸検査の活用 ・授業ノートの見取りや実態把握	

#### 【8(15)学習習慣の形成のデータ】

##### 基本的学習習慣の形成

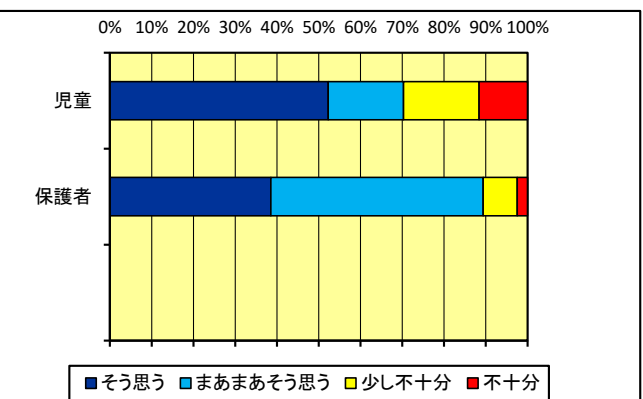
○家庭学習を続けたり、授業の学び合いができましたか。  
 学校は、ノート展の実施や「家庭学習の手引き」を活用し、学力の仕方を指導していますが、子どもたちは、学習する習慣が身に付いていると思いますか。



#### 【8(16)読書活動の充実のデータ】

##### 読書の奨励

○図書館を利用したり、進んで読書をしたりができましたか。  
 学校は、読書を奨励するため、朝や昼の読書タイムや月一回のおうちで読書、読み聞かせボランティアの活用などの取組をしていますが、子どもたちの読書への関心は高まってきたと思いますか。



【読み聞かせ】お話の森



【職員校内研修】



【学びのオリエンテーション】



【校内研究会:授業を見合う会】

令和7年度 学校評価一覧			大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)					
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成			重点 なりたい自分に向かって 前向きに挑戦する子ども					
人間 的 基 礎 力・ 大 館 市 民 基 礎 力・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成	評価項目		自己評価A	学校関係者 評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I  II  III  IV  V	学校運営と保護者・ 地域との連携  (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね良好	良好	1 校内運営組織の機能化	(1)職員会議、指導部会の計画的な運営 (2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	・定期的な職員会議、指導部会 各種委員会の開催 ・学年・学級会計事務の効率化 ・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用						(3)家庭への定期的・効果的な情報発信 (4)幼・保・小・中等、関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・諸行事の案内 ・民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え等での交流や参観、連携会議の実施	4
特色ある学校づくり  (教務・ひまわりPT)		ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	良好	3 ふるさとつながるひまわり活動	(5)特色ある教育課程の編成と実施 (6)なりたい自分をイメージし、前向きに挑戦する心を育む活動	・付きたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・生活科・総合的な学習に位置付けたひまわりプロジェクト ・異学年、地域の人、保護者との交流 ・児童の発想や願いを生かした児童主体のひまわり活動 ・キャリアの視点を踏まえた振り返り	3
					4 規範意識を大切にしたい学校づくり	(7)「意識化―見取り―称揚―定着―」のサイクルを徹底した基本的な生活習慣づくり (8)楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・あいさつ運動の実施 ・委員会活動、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	
児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり  (生活指導部)		「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	良好	5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(9)自己有用感もてる学年・学級経営 (10)安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・教育相談の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常の教育相談活動や自他のよさを見付ける場の設定 ・学校安全日や朝の登校指導の設定 ・避難訓練、交通安全教室等の実施	3
					6 健康的な生活習慣づくり	(11)健康的・衛生的な生活の習慣化 (12)栄養バランスのとれた食習慣の定着と食に対する意識の高揚	・健康状態の把握・指導(歯磨き・手洗い・メディアコントロール等) ・清掃指導 ・食育授業の計画的な実施と学校栄養士との連携	
健康的な生活習慣の確立と体力の向上  (保健体育指導部)		より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	7 体力づくり	(13)継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用 (14)体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施 ・意欲を引き出す事前事後指導 ・友達と協力して取り組む態度の育成	3
					8 基礎的・基本的な学びと確かな学力	(15)基本的な学習習慣の定着 (16)読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・主体的な家庭学習の奨励 ・学びのオリエンテーションの実施 ・図書を活用 ・週末読書 ・読書タイムや読み聞かせの充実	
自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着  (学習指導部・研究)		子どもたちが共感的・協力的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	9 主体的な学び	(17)主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり (18)基礎学力・語彙力を高める場の設定	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに迫るための「ひまわりタイム」の充実 ・次時につなげる振り返りの充実 ・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・評価問題や諸検査の活用 ・授業ノートの見取りや実態把握	3